

# Principal Correspondence

## 2022年 明けましておめでとうございます

あけましておめでとうございます。今年こそ！コロナが去り、2022年が皆様にとって良い年になりますようにご祈念申し上げます。

リリーベール小学校は水戸市にできた初めての私立小学校です。私立ですから当然、公立小学校、国立小学校とは違っていています。どこが違うのでしょうか。

1. 幼小連携による育脳教育…全国でも珍しい幼小教育を、幼稚園、保育園教育から一貫してとらえています。よって実体験活動(校外学習は勿論、理科の実験をすべて実際に行っています)が多い学校です。
2. 教科担任制…公立では担任の先生が全科目をほぼ一人で教えますが、当校では理科、体育、英語、音楽、情報、演劇の授業は専科の先生が教えています。さらに次年度からは、アートも専任の先生が教える予定です。
3. 独自の科目…1年生からの英語(公立は3年生から)、演劇、情報、創造論理などユニークな科目があります。それぞれ専用の教室があります。
4. 自立の為にしつけは厳しい…少人数制で教師がこまめに応じます。
5. 1年生を歓迎する会など、児童会をはじめ子どもたちが創造性を発揮する時間が多い。特に上級生が下級生の面倒をよく見ます。
6. リーダーシップ教育(ハウス活動や、委員会、クラブ活動等)…卒業生の多くが各中学校でリーダーとなっています。
7. 臨界期後の21世紀型学力養成(課題発見、共有、解決、プレゼンする)…実体験重視のためタブレットは4年まで持たせませんが、1年生でも情報の授業でタイピングを習うのでリモート授業はこなせます。
8. 数多くの芸術に触れる活動・感動体験…本物のミュージカル、アート、演奏会などに触れる機会が多くあります。
9. 体力作りをしっかりとやる…体育は重要な科目(運動会、マラソン大会、ドッジボール大会)。専科の先生が二人います。
10. 1学年複数クラスで毎年クラス替え…各クラス内の力関係の固定化を防ぎます。
11. 当校内や関連6部門の充実した学童教室…宿題も遊びも充実！
12. スクールバスによる安全な登校…公立では笠間市、茨城町などでも出していますが、当校では登下校の送迎だけでなく、校外学習にも自前のバスを活用しています。

私たちは知恵の続く限り最善の教育を目指して課題解決を続けます。  
今年もどうか、ご支援ご協力をお願い申し上げます。

# Principal Correspondence

## 育脳学童の原点に戻ります

あけましておめでとうございます 今年は育脳学童クラブを始めて  
20年になります

これは平成13年4月号に掲載したマンスリーレターの巻頭言です。

『育脳学童をはじめます。今までリリーの保育園、幼稚園で学童放課後教室として毎日100名を超える児童をお預かりしてきました。培ってきた経験を集大成し、ただ安全に預かるだけでなく、アフタースクールとして新しく脳に刺激を与える活動、コーナー、環境を整備しました。スタッフの研修も終わってよいよ4月1日より始まります。

人間の脳は、概ね9歳を境に変化していきます。

5歳から9歳ごろまで、漢字や九九、百マス計算などの単純暗記や単純計算を得意としていたのが、9歳を超えると急に複雑な人間関係の心情理解ができるようになり、図形の問題など大人の思考力で解けるようになってくるのです。しかしその分だけゆっくりと記憶力は落ちていきます。学者は「賢くなる分記憶が落ちるのは、ひとつの発達ステップである」と言っています。

リリーでは概ね、5歳くらいまでは五感をフルに使うような育て方をし、6歳から9、10歳までは、概ね3つの脳の働き、①知性②運動神経③人間関係を作っていける能力を伸ばし育てることに力を入れていきます。これは、この時期までに脳の配線と器ができると言っても過言ではないからです。ちょうど小学校3、4年生。学童保育の時期にあたります。

器を大きくしておけば、その後の人生にとって大きなプラスになると信じています。』

現在学童クラブは7クラブになり、ひとつの小学校に匹敵する400名を超える規模に発展しました。拙著「子どもの能力は9歳までに決まる」の原型の考え方が20年前にあります。これは変わらずこれからも守っていきます。

しかしコーナーや、長期休暇プログラムや、数々のイベントなど変化し続けているものもあります。時代のニーズに合わせて進化も忘れません。

スタッフ一同、子どもの気持ちに寄り添いつつ楽しいアフタースクールを目指して参ります。

